

# 舵輪

## 紺青表彰

昨年続いて、第2回海の日を記念し、総帆展帆参加五十回以上の方々に、高林会長から紺青賞が授与されました。

当日は、海王丸フェスティバルも開催されており、穏やかな晴天のもと、多数の方々に祝福されての受賞式となりました。皆、それぞれ苦労があったことと思いますが、それを表面に出されることなく、力強いパフォーマンスやコメントに我々も一層勇気づけられ、頑張つていかなければならないと決意を新たにしました。まだ受賞されていないボランティアの方々も、次は皆さんの番になるよう頑張ってください。そして、これまで受賞されました23名の皆様には、百回の海王賞を目指して頑張つて頂きたいと思えます。

最後になりましたが、今年度受賞されました14名の方々に心から敬意を表し、祝福申し上げます。

## 宝刀ツギの甲羅手

尾瀬ヶ原散策

59 玉井文次

早朝富山を出発。北陸、関越自動車道を順調に走行。天気も良く、気持ちのよい旅立ちとなりました。沼田インターより沼田街道を戸倉へ、途中尾瀬のガイドが合流、指示に従う。

ここからは道が狭く、マイクロボスで鳩待峠に到着。休憩所前には尾瀬へ入る人、帰る人が大勢屯している。我々もしばらく休憩後、尾瀬散策の注意を受け、人数を調査するセンサー前を通過出発した。木道が完備、原則として右側通行です。

見事なブナとダケカンバの林の中にミズナラの老木があり、国内では最大ではないかと云れている。林内にはミズバシヨウが異常に大きくなっているのが多数見られた。

湿原入口の山の鼻ビジターセンターを見学、休憩後、尾瀬ヶ原に入る。草原が開け、木道が連なり、前に燧ヶ岳、後ろに至仏山を見て進む。今の時期は花も少なく、尾瀬湿原というより、草原という感じであった。

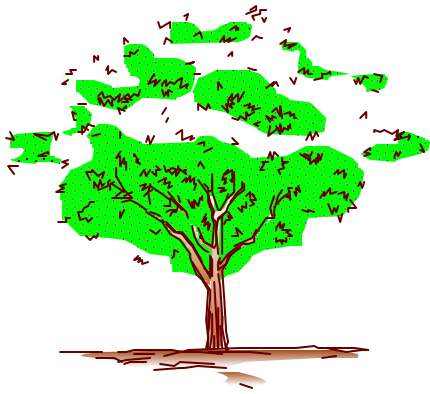
初回の歩きは約十キロ、二日目は約十五キロ位です。木道の建設費は一メートル当たり二万五千円で、材料はカラマツを使っています。

竜宮へ寄り道し、竜宮小屋にて休み。今日の泊まりは見晴の燧小屋で、夜は九時には消灯となります。翌朝は朝食、出発とあまり時間に余裕がなく、慌ただしい出立でした。かなり長い登りで、最初は落葉広葉樹林が続き、標高が増すにしたがい針葉樹が多くなつてきます。

林から開けた所へ出ると、尾瀬沼が見えてきた。沼尻にて休憩。ここから尾瀬沼を約半周位、沼に沿って歩く。標高も徐々に高くなるにしたがい、青森トドマツ、カラマツ、コメツガ等の針葉樹林帯となる。

尾瀬沼休憩所を過ぎると、今回の最高点である三平峠からは長い下りで、途中水が流れている所もあり、悪路が続きます。

一ノ瀬からは広い道路を清水まで三口の下りです。清水には休憩所、みやげ物店もあります。ここで富山からのバスに乗って今回のツアーが終わりです。あと高速道路を一路富山へ帰りつきました。尾瀬には、また花の多い季節に時期を変えて訪れたいと思います。



## 「ハイパス」トヤマからのお知らせ

「富山新港 港巡り」のご案内

今や日本海側有数の規模を誇る「富山新港」の今昔物語をカッターを漕ぎながら勉強してみませんか。

当日は「シー・パイズ・トヤマ」会長で富山商船高専 教授の兩宮洋司先生が楽しくレクチュアされます。

日時 9月21日(日) 9時～13時

集合場所 富山商船高専 臨海実習場  
新湊市堀岡明神新38の6  
電話 0766  
(86) 5114

定員 申し込み受付順 15名

今回は「シー・パイズ・トヤマ」の登録者と登録を希望されるボランティアに限らせていただきます。

申込先 湊 信雄  
(高岡市富岡町2の10)  
電話 0766  
(84) 2166  
030  
(29) 83674

その他 ・当日はカッターを漕げる服装と履物でお越しく下さい。  
・天候等により中止または予定を変更する事があります。

『初秋の山を訪ねて』  
新潟・頸城の奇峰「駒ヶ岳」  
標高1498m

新潟の系魚川には、中央地溝帯(フォッサ・マグナ)があり、日本列島を真二つにしている所でもある。そのため、この周辺には個性的な名山が多い。雨飾山、明星山、黒姫山、権現岳、銚ヶ岳等は、それぞれ沢あり、滝あり、ハシゴに鎖ありの変化に富んだ山登りが楽しめます。今回の駒ヶ岳もその一つです。日頃海王丸で鍛えた技?を存分に山で発揮しま

せんか?

期 日 9月23日(火)

集合時間 午前7時

集合場所 滑川インター

コース 滑川インター

糸魚川インター

大神堂登山口

第一の水場

第二の水場

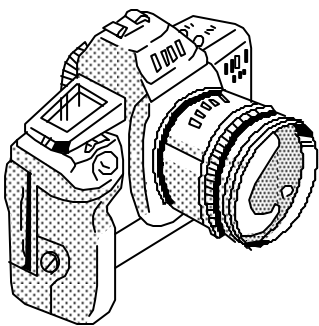
駒ヶ岳山頂 (登り3時間、下り2時間)

参加費 大人 1500円

持ち物 昼食、雨具、水筒、帽子、登山靴かスニーカー、筆記用具、あれば双眼鏡

連絡先 上新川郡大山町上滝408  
高橋勝美  
電話 0764  
(83) 1908  
FAX 0764  
(83) 0029

(詳細は参加者に連絡致します。)



# 舵輪

## 『野鳥観察会』のご案内

海王丸パーク内の富山新港臨海野鳥園で「バードウォッチング」をしてみませんか。今季節はアオサギやカルガモなどが観察できます。  
当日は「シー・バース・トヤマ」理事で「バードマスター」の田口松男さんが解りやすく皆さんに解説されます。

期日 10月5日(日) 展帆日

時間 12時15分～13時15分  
(展帆と絞帆の間)

集合場所 富山新港臨海野鳥園 観察棟  
(日本海交流センターから徒歩で5分)

定員 制限はありません。  
多くの方の参加をお待ちしております。

問合せ先 水野 洋子  
(富山市堀川小泉二区) 857の28  
電話 0764 (91) 2540

その他  
・双眼鏡は会場の施設に備えられています。  
・天候等により、中止する事があります。

## 手紙からのお知らせ

海洋教室の募集  
10月11日(土)、12日(日)の両日に行われる財団主催親子海洋教室の宿泊コースは、まだまだ、余裕があります。ご近所、お友達等お誘い合わせでのご参加をお待ちしています。

海王丸の整備作業参加について  
日頃、総帆展帆で皆様にお世話になっておりますが、もつと海王丸に親しみようとは思いませんか。  
海王丸では、毎日、業務課の皆が船体の保存整備作業を行っています。余裕のある方は、少しでもこれらの作業を経験することで、船の保存と、船員の生活について理解を深めることになるものと思えます。

作業内容は日々異なりますが、参加してみようと思われる方は市川までご連絡ください。

## 『海道の豆知識』

広い広い海の上にも「航路」と呼ばれる海があることをご存じでしょうか。今回は、船が通る道についてお話ししましょう。

航路には、太平洋のような広い海域にある航路から東京湾のような狭い海域にある航路まで大小様々なものがあります。まずは、大洋に設定された大洋航路の説明をします。日本からアメリカ大陸まで航海するとき、太平洋のどこを通っても何ら問題はないのですが、ほとんどの船はある決まった海域を航行します。これが、大洋航路と呼ばれるものです。大洋の道とも言える大洋航路は、目的地までの距離、海域の気象や海流、浅瀬や島などの航路上の障害物や目標物などの条件により、これまでの船乗りが通ってきたルートが収束し、最適であると考えられた海の道なのです。陸地に例えるなら、草木が茂る道のない大地でも、人が生活すれば最適な場所に自然に通る道ができるのと同じです。しかし、海の道と言っても灯台やブイがあつて道が区別されている訳ではありませんし、大洋航路を航行しなければならぬという義務もありません。

これに対して、東京湾など船が多い海域に交通整理を目的として人工的に作られた道があります。この航路は、ブイや灯台により海の道としてはつきりと区別されておられ、長さ50m以上の船は必ず航路を航行しなければならぬことと海上交

通安全法に規定されています。東京湾、伊勢湾、瀬戸内海の狭い海域では、太平洋のように好きなのところを航行できないようになってくるのです。おまけに、12ノットの制限速度まで設定されています。航路に入れば、無線で船名とか船の大きさなどを「海上交通センター」と呼ばれる海の交番所のようなところに報告しなければなりません。「海上交通センター」では、常時レーダ監視を行っており、速度違反をしようものならすぐに「その海王丸、速度を落とさない！」と無線で警告されます。悪質な違反者には5万円以下の罰金まで用意されています。このように海の上でも陸上と同じようにしっかりと交通コントロールされています。ちなみに、海上でも朝夕のラッシュ・アワーがあり、航路に入るときはたくさん船が航路入口で混み合うこともあります。遅い船を操船していても、高速道路に合流するような気持ちになります。

## 展帆日夕

月日 天候 参加者 その他  
7/20 晴 90名 スターボードタックスクエアヤード 紺青賞表彰式  
8/10 曇 73名 スターボードタックスクエアヤード 海洋講座(沿岸の鳥里の鳥「臨海野鳥園の鳥たち」)

## あとがき

朝夕はめつきり涼しくなり、仕事が終わって家に帰る頃には、陽も沈んでしまふようになりまして。クーラーが欲しいと思つてしまいましたが、皆さんは風になつてしまいましたが、皆さんは風などひかれてないでしょうか。  
この夏はいろいろなことがあり、個人的には忘れられない夏になりました。皆様から暖かい祝福を受け、感激でいっぱいでした。ありがとうございます。あるボランティアの方から頂いたお言葉の中にありましたが、総帆展帆の時には引き締めて、事故なく取り組んでいきたいと思ひます。  
先日、久しぶりに風邪に悩まされた。天候の変わり目ともなるこの時期、皆様も十分体調に留意され、元気な笑顔で展帆日にお会いできることを楽しみにしております。

ITTY